

## 裾野支部秋季懇親会を開催

隊友会裾野支部は、九月二十九日（土）に今年度上半期のボランティア活動の慰労と来賓及び会員相互の親睦を深めるためパターゴルフ大会と懇親会を須山の「大野路」で開催しました。パターゴルフ大会には十名が参加し、霧に煙る大野路の公認パターゴルフ場において開催されました。今回は昨年参加できなかった往年の覇者、渡辺道夫会員がアンダーで優勝しました。その後、露天風呂で疲れを癒し、来賓をお招きしての懇親会が実施されました。懇親会には佐藤駒門駐屯地司令、松田業務隊長、佐野最先任上級曹長が、板妻からは駐屯地司令代理として第三中隊長が、また、三島募集事務所からは新任の中島所長と青島主任広報官も参加いただき、市側からは高村裾野市長、志村裾野市自衛隊協力会長、観光協会の渡邊様ほか、地元選出の細野衆議院議員、鳥澤県議会議員も駆けつけてご挨拶をいただいた。隊友会からは、隊友会副会長でもある加藤長栄支部長にも参加いただいた。冒頭の支部長の挨拶では上半期のボランティア活動の状況と活動に参加する会員の減少問題、家族支援（隊員の留守家族の安否確認）に関する今後の方向性などについて話された。その後、鳥澤県議会議員の乾杯で開宴となりました。懇親会では、パターゴルフ大会の表彰が実施されたほか、新入会員の紹介で福田会員の挨拶がありました。今回初めての司会を担当した足立事務局長のスムーズな司会進行により和気あいあいと情報交換、懇親を深め、最後は大事顧問による一本締めで懇親会を締めくくりました。



（懇親会参加者の笑顔）



（パターゴルフを楽しんだ会員）



（清掃奉仕に参加した会員と富士学校の隊員）

## 若獅子神社の清掃奉仕作業

隊友会東部協議会（会長柴田晃次）は、十月六日昨年に引き続き若獅子神社の清掃奉仕作業を実施した。裾野支部からの参加者（支部長と山下会員）を含め十三名が富士学校機甲科部の豆タン（機甲生徒）出身の教官・助教十三名とともに清掃奉仕に参加した。今回は、十月十日の例大祭のための清掃であり、昨年は当社社を管理していた少年戦車兵第三期生出身の吉留氏のもとで実施したが、今年九月に吉留氏がご逝去されたため当社関係者のもとで草刈り、枝葉の選定除去などを行った。清掃終了後には会員と現役隊員がお茶を飲みながら懇親を深めた。神社清掃は、近所に在住される家族会の鈴木氏はじめ近所の方々や、戦車教導隊豆タン出身者、第一機甲教育隊の陸曹候補生課程学生などにより定期的に実施されている。境内には「若獅子の塔」が建立されているほか、昭和五十年に激戦の地サイパン島から帰還した九七式中戦車（通称チハ車）二両の内一両が展示されている。（他の一両は靖国神社遊就館に展示）展示されている。戦車は野ざらしのため履帯部分の劣化が激しく保存要領の検討が必要である。若獅子神社は、富士宮市上井出インター近くにあり一度訪れて見られたらいかがでしょうか。



（国会議事堂を背景に研修参加者の皆さん）

隊友会裾野支部は、六月二十八日（木）恒例の支部研修会を実施した。今回は、国会議事堂、迎賓館、千鳥ヶ淵戦没者墓苑を会員及びその家族のほか知人など市民を含め二十四名が参加した。裾野市民文化センターを八時過ぎに出発し国会議事堂へ、国会議事堂では細野衆議院議員の秘書や衛視の案内で参議院の議場や各部屋などの建物の説明を受けた。昼食は議員会館の食堂で議中開催中の細野議員も交えての会食となった。その後、千鳥ヶ淵にある戦没者墓苑を見学した。墓苑の説明を受け三万名を超える遺骨が地下に安置されていることや遺骨収集事業が今でも行われている現状などの説明を受けた。次に、迎賓館に移動し、赤坂離宮の館内を見学、豪華絢爛たる建物内部、装飾品などを見て回り、中庭で行われる外国国賓に対する儀仗の現場を確認することができた。今回参加した市民の方々から来年もぜひ参加したいので案内してほしいとの要望もあり非常に有意義な研修であった。

## 国会議事堂を研修



（議員食堂にて細野議員と）



（当選を喜ぶ内藤相談役と江波戸後援会長）

隊友会裾野支部相談役である内藤法子会員は、十月七日投票の裾野市議会議員選挙において見事当選され六期目の議員活動を開始されることになりました。内藤相談役は、これまで第一機甲教育隊の入隊・卒業式や自衛隊の各種行事に参加して隊員を激励されているほか、就職支援活動、講演会などの企画・集客に尽力されている。今後は、ベテラン議員としての市民の生活環境の改善、市の遅れている事業の推進のほか自衛隊と市民のかげ橋としてさらなる活躍を期待するものです。

## 内藤法子相談役が当選

# 隊友裾野

## 隊友会裾野支部

隊友会裾野支部は、自衛隊退職者の親睦と相互扶助を図るとともに、市民と自衛隊のかけ橋として活動しています。

### 「葬儀支援サービス」制度について

すべての会員が利用できる制度です。本人・妻のほか親兄弟の死去に際し「隊友会会員です」と連絡するだけで！

- 1 葬儀費用の割引が受けられる。
- 2 「静岡県隊友会」の花輪が届く
- 3 遠くの親族でも利用できる。

もしもの場合の連絡先は  
0120-421-493へ

## 裾野市で実施された各種行事を隊友が支援

### フェスタすその



(商工会館前で駐車場整理にあたる会員)

裾野市恒例となった商工観光フェア「フェスタすその」が十月二十日(土)に裾野市文化センターで開催され、来場する市民の車両の誘導整理を実施して祭りの実施に協力しました。年々規模が大きくなり駐車場も新しい場所に設けられその分負担が大きくなった。そのため、会員が二度勤務することになったほか、今回初めてボランティアに参加した会員もおり、大会員には、年に一回でも参加していただきたいと参加した会員から話もありました。

ご協力いただいた会員は、村井、小山、関沼、大竹、福田、村山、佐藤、土屋、法花津、足達、明和の各会員でした。大変お疲れ様でした。

### 阿波おどり支援



(市役所前関係者駐車場で誘導にあたる会員)

第三十五回「富士山すその阿波おどり大会」が今年九月に入った一日(土)に裾野駅前通りと新道通りで開催されました。午後五時から地元連の総踊りで開始されストリートイベントや屋台が並ぶ中、地元八連のほか招待・参加の十四の連が華やかな鉦の音や勇壮な太鼓の音とともに熱のこもった踊りで観客を魅了しました。今年も新企画のマルシェが小柄沢公園と市役所駐車場で開催されたため昨年の市役所裏駐車場が天理教の関係者駐車場に変更され、車の整理を行って阿波おどり実行委員会、車協力をしました。ご協力いただいた会員は関沼、山下、藤本、明和、村山、塩川、佐藤、岩木、渡辺道、本田、村井、大竹、足達、の各会員でした。

### 夏祭り支援



(夏祭り実行本部前で支部長と山下会員)

裾野市の夏の祭典第四十五回「すその夏まつり」が八月五日に裾野市運動公園を会場に開催され約三万五千人の人出で賑わいました。祭典は午後四時から各種ダンスや太鼓演奏、ライブなど多彩な催しや五十店以上の屋台が並び、花火大会では約一万発の花火とレーザー光線によるコラボレーションで観客を魅了しました。隊友会裾野支部は、シャトルバス発着場での乗降客整理須山研修センター駐車場での来場者の整理の他、翌日の後片付け、ゴミ拾いにも協力しました。ご協力いただいた会員は、関沼山下、藤本、大竹、足達、村山、西田、村井、青木、明和の各会員でした。

### 駒門駐屯地司令が防衛講話



(防衛講話で自己紹介される駒門駐屯地司令)

裾野支部は、九月八日(土)に裾野市生涯学習センター一階団体会議室において国際法動教育隊長兼ねて駒門駐屯地司令佐藤和之等陸佐による「国際平和を願って」をテーマとした防衛講演会を実施した。講演には会員のほか、内藤法子相談役が主宰する「平成裾野塾」からもたくさん参加したほか、今回後援をいただいた裾野市自衛隊協力会からも志村会長以下が聴講に訪れた。講話は、講師の自己紹介に始まり、日本を取り巻くアジアの軍事情勢特に中国、北朝鮮の活動状況の紹介本題である「海外派遣指揮官は何を考えたか」について、ご自身が勤務されたトラン高原派遣輸送隊長、ジブチ派遣海賊対処行動支援隊司令の二度にわたる海外派遣指揮官の経験から世界の各国軍人とともに過酷な条件下で勤務し、異なる言語や勤務環境、安全確保などにどのように対処し教訓を得たかについて講話をいただいた。この種の防衛講話は年一回程度開催しているが参加者が少なく今回は十名で多いほうであった。現在は情報化社会でいるんな情報は入手できるが、貴重体験談などの講話は貴重であり、隊友会会員として幅広い知識を得るために積極的に参加していただきたい。

### 総合火力演習で富士教導団を慰問



(激励に訪れた支部長と加藤副会長)

平成三十年度富士総合火力演習が八月二十六日に実施されました。これに先立ち隊友会裾野支部では八月十三日、明和支部長と長束支部長(県副会長)が富士総合火力演習の担任部隊である富士教導団を慰問しました。当日は、古田教導団長以下の三役は訓練で不在だったため演習統制部のある畑岡射撃地区統制部において総務班長に慰問品を渡し、訓練状況の説明を受けた。今年は連日猛暑が続く隊員も苦勞しているとのことだったが一般公開日には見事な展示演習で来場した三万名近い観客を魅了しました。

### 危険業務従事者叙勲

秋の危険業務従事者叙勲が発表され、裾野支部から次の三名の方がいずれも瑞宝双光章を授章されました。

- 瀬川 修 会員
- 藤坂 朝男 会員
- 勝間田 健一 会員

おめでとうございます